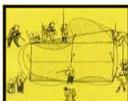
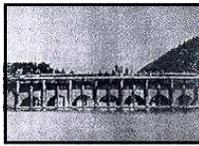


みやぎの土地改良年表

時代	西暦・年号	宮城県史	日本の歴史
縄文弥生	-13000(縄文期) -5000(縄文期) -1000(縄文期) -219(前3世紀) -200(前3世紀)頃 -100(前2世紀)頃	・県内各地で縄文時代草創期 ・恵比須田遺跡(田尻蕪栗)に遮光器土偶  【田尻遮光器土偶】 【富沢遺跡】 ・仙台富沢に水田跡(区画:5-30m2) ・多賀城山王、水田跡 	・青森に縄文集落(三内丸山、BC3500頃) ・インド、中国南方で稲作発祥(～BC3000) ・稲作日本へ(BC1000、福岡四箇東遺跡) ・秦の始皇帝、徐福を蓬莱の国(日本)へ ・稲作北進、本州北端(弘前市砂沢遺跡) ・倭奴国朝賀使「漢委奴國王」金印(57) ・邪馬台国卑弥呼「親魏倭王」金印(239)
古墳飛鳥	310(4世紀初)? 350(4世紀中)? 390(4世紀末)頃 653(白雉4)頃 701(大宝元)頃	・四道將軍、日本武尊 ・思太国造、伊久国造 ・雷神山古墳(名取)が【東山道道奥国】 造られる(東北最大の前方後円墳L168m) ・東山道に道奥国を設置(国府:仙台郡山) ・陸奥国に改称(大宝律令施行、国郡里制)	・百済→儒教公伝(513)、仏教公伝(538) ・遣隋使派遣(600・第1回、607・第2回) ・大化改新(645国造国県制→国評里制) ・阿倍比羅夫水軍、津軽蝦夷討伐(658) ・白村江の戦(661-3倭国百済vs唐新羅)
奈良	713(和銅6) 715(霊亀元) 724(神亀元) 728(神亀5) 737(天平9)頃 741(天平13)頃 749(天平感宝1) 760(天平宝字4) 768(神護景雲2) 774(宝亀5) 780(宝亀11)	・丹取郡、丹取軍団置く(名取公龍麿、713) ・関東民1千戸、黒川以北十郡建郡(牡鹿小田新田長岡志太玉造富田色麻賀美黒川) ・国府、多賀城創建(鎮守府將軍大野東人) ・白河軍団設け、丹取軍団を玉造軍団に ・天平五柵(多賀、玉造、色麻、新田、牡鹿) ・仙台の陸奥国分寺(741建立)を中心とし 条里制水田遺溝跡(国郡郷制:740～) ・小田郡(遠田)黄金900両を大仏造営献上 ・桃生城(760)伊治城(築館富野、767)造営 ・伊治郡に百姓2,500人を移住開拓(768) ・海道蝦夷が桃生城(河北飯野)侵攻(774) ・伊治公皆麻呂、伊治城で反乱(宝亀の乱)	・平城京遷都(710元明天皇藤原不比等) ・関東6国民1千戸(2万人)を陸奥北部へ ・蝦夷反乱征討、1400人斬首捕縛(720) ・百万町歩開墾計画(722、陸奥・出羽等) ・三世一身法(723、墾田の奨励) ・諸国の浮浪人等が奥羽の開拓(737) ・条里制(1町=109m×109m大化改新以後) ・墾田永年私財法(743)→初期荘園 ・奈良東大寺大仏完成(752、国分総寺) ・恵美押勝(藤原仲麻呂)の乱(764) ・弓削道鏡、太政大臣禪師に(765～770) ・東北大戦争(38年戦争、774～801) ・征東軍5万人、阿弖流為軍に敗退(789)
平安	794(延暦13) 802(延暦21) 840(承和7) 1062(康平5) 1087(応徳4) 1108(天仁元) 1143(康治2) 1189(文治4)	・將軍大伴弟麻呂が侵攻(朝廷軍10万人) ・將軍坂上田村麻呂に、胆沢阿弖流為投降 ・宮城郡権大領物部已波美、私池(溜池)造り 公田80余町灌ぐ(続日本後紀仁明紀) ・巨理権大夫の藤原経清が、源頼義に亡ぶ ・藤原清衡、源義家助力で平泉政権樹立へ ・三迫川上田堰、天仁年中(1108-10)、城主 沼倉小次郎の祖父高清、村人に開墾さす ・阿武隈川に潜穴開削(岩地藏用水の創始、1143、[弘治2年<1556>説もある]) ・源頼朝に、平泉の奥州藤原氏滅ぶ(1189)	・平安京に遷都(794、桓武天皇:第50代) ・阿弖流為と母礼、河内国で処刑(802) ・田村麻呂、鎮守府胆沢城を造営(802) ・貞観地震津波で多賀城等被災(869) ・前九年の役(1051-62、陸奥棟梁の安倍貞任亡ぶ) ・後三年の役(1083-87) ・藤原清衡、中尊寺(1105)【岩地藏取水口】 ・平清盛、武士で初めて太政大臣(1167) ・壇ノ浦の戦(源義経に平氏滅ぶ、1185) ・奥州合戦(源頼朝軍28万人、1189)
鎌倉	1195(建久6) 1201(建仁元) 1267(文永4) 1333(元弘3)	・奥州惣奉行に葛西清重(石巻城に本拠) ・三迫川馬場堰、建仁年中(1201-4)松倉城主 小野寺義冬命で領民開削(現岩ヶ崎) ・加美郡加美石村米泉に館前大堰を文永 年間に開削し田川から取水(1267-75)	・源頼朝を征夷大將軍に任命(1192) ・鎌倉幕府、諸国に土地台帳撰進(1223) ・蒙古襲来(1274:32千人、-81:142千人) ・鎌倉大地震津波、死者23千人(1293) ・鎌倉幕府滅亡(執権北条氏滅ぶ、1333)
室町	1338(建武5) 1339(暦応2) 1467(応仁元) 1543(天文12) 1573(天正元)	・奥州管領に斯波家兼(後の大崎氏の祖、 中新田城を拠点、1339) 【斯波家兼】 	・足利尊氏、北朝征夷大將軍で室町幕府 ・南北朝合一(南北朝時代:1336～1392) ・応仁の乱(1467、荘園制度が壊滅す) ・鉄砲伝来(1543)、キリスト教伝来(1549) ・室町幕府滅ぶ(將軍義昭を京都追放)
安土桃山	1576(天正4) 1582(天正10) 1588(天正16) 1590(天正18) 1591(天正19) 1592(文禄元) 1596(慶長元) 1597(慶長2) 1600(慶長5) 1601(慶長6)	・大崎合戦(大崎vs伊達、1588)【伊達政宗】 ・豊臣秀吉、会津黒川城で奥州仕置 ・政宗、大崎葛西一揆平定拜命、岩出山に 転封 150→72→58万石迄に削封(1591) ・黒川郡八志田堰、天正年代までに完成 ・岩出山大堰と内川用水路を開削(1591) ・桃生郡鹿又村の開墾工事に着手(1592) ・名取川富田～広瀬川間木流掘開削着手 ・長門国出身川村孫兵衛重吉、阿武隈川～ 名取川木曳堀開削(南貞山堀1597-1601) ・仙台開府の許可、仙台藩が60万石に(刈 田郡2万石の加増で、陸奥:21郡970ヶ村) ・政宗、仙台城に移る(本丸完成は1602)	・織田信長、安土城築く ・本能寺の変、太閤検地 ・豊臣秀吉が関白(1585)  【太閤検地】 【内川用水路】 ・文禄の役(1592-93、朝鮮へ16万人出兵) ・慶長の役(1597-98、朝鮮へ14万人再出兵) ・関ヶ原戦、徳川家康が伊達政宗に「百万石お墨付」(1600)  【大崎領と葛西領】  【仙台藩60万石】

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
江戸	1601(慶長6)	・川村孫兵衛重吉、四ツ谷用水開削開始	・徳川家康征夷大將軍、幕府開く(1603)
	1606(慶長11)	・仙台藩に1.5万石加増(常陸、近江、下総)	・家康、將軍職を秀忠にゆずる(1605)
	1611(慶長16)	・登米伊達氏祖、白石相模宗直が相模土手手、北上川河道変更、新田開発(1605-11)	・朝鮮通信使が初来日(1607)
	1613(慶長18)	・伊達政宗がサツ・ファン・バウスタ号で、支倉常長、ワロ180名を慶長遣欧使節(1613-20)	・慶長三陸地震津波が仙台平野2km遡上 仙台藩内で5千人の溺死者(1611)
	1614(慶長19)	・この頃に北上川補強工事で登米伊達氏二代宗貞が若狭土手(人柱お鶴悲話)	・幕府、領内にキリスト教禁止令(1612)
	1617(元和3)	・南方村など七ヶ村入会用水の溜池として長沼堤(迫川水系)を築堤開始(1617-21)	・大阪冬の陣(1614)、大阪夏の陣(1615)
	1620(元和6)	・本吉郡横山を水源に柳津大溜池を築造(1617-20)、用水で大野谷地500町開拓	・政宗庶長子秀宗、宇和島10万石(1614)
	1621(元和7)	・小麻川締切り、中津山待井(締切沼)造る	・幕府が一国一城令(1615)
	1623(元和9)	・仙台藩、水運で石巻に集米、江戸初出荷	・徳川家康死没(1616、享年75)
	1626(寛永3)	・政宗が農民法令発布、新田開発を推進	・後藤寿庵、胆沢に寿庵堰開削(1618)
	1628(寛永5)	・富塚信綱、若柳谷地300町開発(1621-28)	・徳川御三家成立(1619)
	1629(寛永6)	・後藤寿庵が後藤江開削、宮沢新田開発	 【後藤寿庵】
	1630(寛永7)	・仙台藩切支丹取締(切支丹領主後藤寿庵出奔、広瀬川でガムバノ神父等殉教1624)	 【川村孫兵衛重吉】
	1632(寛永9)	・川村孫兵衛重吉指揮で、北上川、迫川、江合川の三川合流付替工事完成(1616-26)	・徳川家光、第三代將軍になる(1623)
	1633(寛永10)	・遣欧使節の迎え派遣の横沢将監庸宣が七北田赤坂大堤(将監堤)をこの頃築く	 【原始北上川】
	1634(寛永11)	・涌谷伊達安芸宗定、和多田沼野谷地開発	 【相模土手】
	1635(寛永12)	・若林城築城の城濠のため六郷堰を改修	 【三川合流】
	1636(寛永13)	・広瀬川四ツ谷堰、宇津志惣兵衛が開削	・英国対日貿易停止(1623)
	1638(寛永15)	・荒川堰、鴛田惣兵衛重成開削新田百町歩	・イパニヲ船来航禁止(1624)
	1639(寛永16)	・仙台藩の「本石米」、江戸廻米が始まる	 【広瀬川四ツ谷堰】
	1640(寛永17)	・仙台藩5千石加増で62万石となる(近江)	・江戸米の2/3は仙台藩(1632武江年表)
	1642(寛永19)	・金洗堰、前田喜左衛門が開削(1630-35)	・黒田騒動(1632-33、黒田藩57万石)
	1644(正保元)	・政宗死没(享年70)、忠宗が二代藩主に	・幕府、外様大名に参勤交代(1635)
1645(正保2)	・阿武隈川に角田石川宋敬が北郷江尻閘門築造(1638)、堤防2,792間築堤(1639)	・日本人の海外渡航帰国禁止(1635)	
1646(正保3)	・仙台藩、切支丹弾圧300人処刑(1639-42)	・清が建国(1636)	
1647(正保4)	・寛永の総検地(1640-43)「二割出目」方式	・島原の乱(1637-38、幕府軍12.6万人)	
1648(正保5)	・この頃、名取川に六郷堰開削(1640)	・ポルトガル船来航禁止(1639)	
1651(慶安4)	・この頃烏川堰、宮崎館主牧野大蔵が開削	・鎖国体制完成、蘭商館を出島に(1641)	
1655(明暦元)	・田川に志田堰(上川原堰)を開削(1640)	・幕府の老中立会で仙台藩と南部藩の「藩境」を図面文書で協定(1641)	
	1642(寛永19)	・仙台藩と南部藩の「藩境塚」を現地設置	・幕府、譜代大名も参勤交代(1642)
	1644(正保元)	・大崎沼(小野沼)の干拓のため、寛永の頃萱刈潜穴開削、100町余拓く	・寛永の大飢饉(1642-43)
	1645(正保2)	・石越村悪水川開削、猛暑の工事から夏川と命名される	・田畑永代売買禁止(1643)
	1646(正保3)	・藤田但馬、宮城郡荒井村に藤田新田拓く	 【仙台藩南部藩境塚】
	1647(正保4)	・仙台藩、正保郷帳(74万石)を幕府へ報告	・幕府、諸国に郷村高帳、国絵図作成命ずる(1644)
	1648(正保5)	・南原穴堰、732間開削(尿前七代目肝入遊佐平左衛門宣次、新田二十町歩拓く)	 【南原穴堰】
	1651(慶安4)	・荒川堰(松山堰)延伸、普請役人前田喜左衛門、大越喜右衛門施工で加美黒川志田三郡に亘る面積307町余着工(1646-55)	 【荒川堰の絵図】
	1655(明暦元)	・伊豆野堰、古内主膳重廣により、一迫川右岸清水袋地点に川村孫兵衛元吉設計、加藤甚兵衛監督で完工、2,000町余、石高15,000石(1644-46、加藤甚平衛投獄と三滝[大滝、牛蒡滝、八幡滝]造成秘話)	 【旧伊豆野堰】
	1647(正保4)	・雲房の施工で松島町海岸平野の開拓	 【大滝(復元)】
	1648(正保5)	・三高野村貝の堀隧道、佐賀房供開削、130町拓く(1635-48、人夫生理め事故悲話)	・加賀騒動(1647-54、加賀藩100万石)
	1651(慶安4)	・三迫川左岸に伊予宇和島板倉伊賀守が藩主忠宗の命で板倉堰開削(1651-1670)	・慶安の御触書で農民法令(1649)
	1655(明暦元)	・品井沼干拓の始まり、松山領主茂庭周防が新田開発250町歩(明暦の新田開発)	・徳川家綱が四代將軍(1651)
		・田川坂下堰、石母田氏が宮崎館に導水	・由井正雪の乱(1651)
			・大名末期養子の禁を緩和(1651)
			・下総佐倉惣五郎一揆(1653)

時代	西暦・年号	宮城県史	日本の歴史
江戸	1656(明暦2)	・検断横山宮内、桃生郡に大森沼を築造し近辺150余町の用水に利用(1656)	
	1658(明暦4)	・舟入貞山堀開削(七北田川以北1658-73)	・江戸、明暦の大火(死者10万人、1657)
	1659(万治2)	・栗原郡烏矢崎村に岩淵堰を岩淵某築造	
	1660(万治3)	・綱宗隠居事件(三代藩主逼塞隠居、1660)	・伊達騒動(1660-1703、仙台藩62万石)
	1662(寛文2)	・大堤(広淵沼)鳥谷坂潜穴、普請役人小島嘉右衛門、笠原伝右衛門造成(1662-65)	・武家諸法度で殉死禁止(1663)
	1663(寛文3)	・須江村の小島嘉右衛門ら、糠塚潜穴開削	
	1664(寛文4)	・鳴瀬小野から矢本まで新田潜穴、新田堤	【仙台藩の重臣配置】
	1665(寛文5)	・鹿又村に灌漑排水の嘉右衛門堀を造る	
	1665(寛文5)	・桃遠境論(涌谷伊達安芸、登米伊達式部)	
	1665(寛文5)	・江合川長岩潜穴と旧玉造川土手の造成(龍石寺の開祖宗慶和尚の逆法印の碑)	
	1665(寛文5)	・名鱒沼からの桃生郡塩入村用水が完成	
	1668(寛文8)	・仙台藩、百姓条目で農民の米食を禁ずる	
	1670(寛文10)	・蟬堰、石母田長門永瀬代に完成(1658-70老臣海老田新蔵人次男喜七郎人柱悲話)	・蝦夷地でアイヌ首長シャクシャインの乱(1669)
	1671(寛文11)	・寛文事件(所領紛争裁定の大老酒井忠清邸で国老原田甲斐が刺殺事件、1671)	・幕府、箱根用水を掘抜完成(1670)
	1671(寛文11)	・小田川沿に大沼、赤沼、鈴木沼、無笹木沼舟沼を造成、366町歩を潤す(1664-71)	・一関藩伊達兵部宗勝が改易(1671)
	1671(寛文11)	・平筒沼の中筒潜穴が寛文年代に築堤	・河村瑞賢が東西廻航路開く(1671-2)
	1673(延宝元)	・川村孫兵衛元吉設計で鹿島堰(1673-79)	
	1673(延宝元)	・品井沼、我妻六兵衛、三度縄引(1673-87)	【原始の品井沼】
	1680(延宝8)	・原堰、普請奉行鎌田景泰完成(1670-80)	・延宝天和の大飢饉(1680-82)
	1683(天和3)	・寺池伊達家臣の秋山源兵衛、赤生津開墾田450町歩、畑50町歩、植民200戸完工	・犬公方、徳川綱吉が五代将軍(1680)
	1684(天和4)	・大崎沼干拓(1684-90)の萱刈隧道完成	・井原西鶴「好色一代男」(1682)
	1684(天和4)	・三迫川に軽辺六右衛門が軽辺堰開削	
	1684(天和4)	・郡奉行松林仲左衛門、迫川に三方島土手	
	1685(貞享2)	・満埒潜穴油屋東右衛門開削、亘理用水へ	・5代徳川綱吉「生類憐み令」発布(1685)
	1685(貞享2)	・品井沼、貞享年間に藩直轄干拓240町歩	
	1685(貞享2)	・内町堤が竣工、角田枝野新田の用水に	・柳沢吉保が将軍側用人となる(1688)
1688(元禄元)	・元禄以前、白石川に岩城堰(柴田、名取)	・松尾芭蕉「奥の細道」600里の旅(1689)	
1688(元禄元)	・元禄年代、大越喜右衛門七北田新堰完工		
1693(元禄6)	・仙台藩直轄の品井沼元禄潜穴、大越喜右衛門指揮で着工(1693)	・湯島聖堂が作られる(1690)	
1694(元禄7)	・藩営で伊豆沼、長沼(南郷)の干拓着工		
1695(元禄8)	・仙台藩の人口77万人(うち農民54万人)	・元禄の大飢饉(1695-96)	
1698(元禄11)	・大越喜右衛門指揮で品井沼元禄潜穴と小川開門完成、新田開発617町歩(1698)	  	
1698(元禄11)	・品井沼藩主御覧場取止責任で大越喜右衛門ら七名備中山で切腹(お墓山悲話)	【元禄潜穴の品井沼】 【元禄穴頭】 【小川開門】	
1698(元禄11)	・鞍坪元禄潜穴により南郷新田開発進む	・赤穂浪士四十七士の討入(1702)	
1699(元禄12)	・仙台藩、元禄郷帳、60万石と幕府に報告	・元禄地震津波、数千人が犠牲(1703)	
1702(元禄15)	・元禄品井沼干拓、茂庭家に返還され完了	・近松門左衛門「曾根崎心中」(1703)	
1703(元禄16)	・綱村隠居事件(四代藩主)、吉村五代藩主(1703-43、中興祖、買米制で藩財政再建)	・富士山の宝永大噴火(1707)	
1703(元禄16)	・渡辺源内、大崎八幡潜穴を元禄年代開削	・徳川吉宗8代将軍、享保の改革(1716-)	
1711(正徳元)	・桑折江堰、鳴瀬川の水揚げ用水(1711-6)	・幕府が、新田開発奨励と上米令(1722)	
1718(享保3)	・仙台北下四ツ谷堀、川村孫兵衛元吉竣工	・幕府、足高の制を定め人材登用(1723)	
1718(享保3)	・仙台藩の実高、100万石を越える(1718)	・幕府領、5公5民制(1728、従来:4公6民)	
1718(享保3)	・品井沼元禄潜穴第1回改修(おまん悲話)	・享保の大飢饉(1732)西日本各地で付ゴ・カカ等が大発生、餓死者97万人各地に百姓一揆や打ちこわし	
1731(享保16)	・小名倉潜穴で北上川取水を、中田沼造成		
1733(享保18)	・和多田沼、臼ヶ筒堰改築(人柱お菅悲話)		
(享保年間)	・享保切支丹弾圧120人処刑(米川三経塚)		
1737(元文2)	・上沼村後藤勇治、平堀潜穴長枠工事完成	・公事方御定書(1742)	
1738(元文3)	・三迫川穴山堰、肝入桑畑弥右衛門が開削	・徳川家重が9代目将軍(1745)	
1743(寛保3)	・白石の片倉氏、刈田郡七日原に牧場開設	・宝暦の大飢饉(1755-57)	
1743(寛保3)	・品井沼潜穴改修(第2回1743)	・徳川御三卿が成立(1758)	
1743(寛保3)	・品井沼潜穴改修(第3回1745)	・関東に農民一揆おこる(1765、20万人)	
1745(寛保5)	・宝暦大飢饉で仙台藩餓死者3万人余とも		
1755(宝暦5)~	・千坂半右衛門、救済事業で志戸田堰潜穴		

時代	西暦・年号	宮城県史	日本の歴史
江戸	1771(明和8)	・江合川右京江堰、京都右京太夫指導造営	・平賀源内がエレクトル(発電機)造る(1776)
	1782(天明2)～	・天明大飢饉で仙台藩餓死者30万人とも	・天明の大飢饉(1782-87)餓死者140万
	1783(天明3)	・浅間山大噴火降灰で仙台藩大飢饉拡大	・浅間山大噴火(降灰で飢饉拡大、1783)
	1797(寛政9)	・田川永志田堰(二ツ石堰)改良(1783-93)	・寛政の改革(1787-93、老中松平定信)
	1807(文化4)	・仙北十郡大百姓一揆(1797、義民清三郎)	・仙台藩林子平、海国兵談で処罰(1792)
	1818(文政元)	・品井沼元禄潜穴第4回大改修(1807-09)	・伊能忠敬(55歳)、奥州から全国を測量開始(1800-16)
	1819(文政2)	・葦神堰五間堀北条吉兵衛開削(1818-30)	・間宮林蔵が樺太探検(1808)
	1820(文政3)	・作並河崎潜穴の棒目木堰(熊ヶ根用水)	・伊能忠敬大日本沿海輿地全図(1821)
	1825(文政8)	・小名倉潜穴の掘下げ大工事、人足20万人	・幕府が外国船打払い令(1825)
	1830(天保元)	・仙台藩で川堰普請技術書「御普請方留」	・シーボルト事件(1828)
	1831(天保2)	・白石川観平堰開削(1830-34、片平観平)	・天保の改革(1830-43、老中水野忠邦)
	1832(天保3)～	・藩営、青木沢掘割(定川へ導水1831-33)	・天保の大飢饉(1832-39)餓死者30万人
	1833(天保4)	・天保大飢饉で仙台藩餓死者は数万人	・大塩平八郎乱(1837、米不足大阪民乱)
	1841(天保12)	・仙台藩、天保郷帳、99万石と幕府に報告	・南部藩三閉伊一揆、仙台藩強訴(1853)
1846(弘化3)	・品井沼元禄潜穴の改修(第5回、1841)	・米国ペリー黒船艦隊来航(1853、1854)	
1847(弘化4)	・福岡村新堤主立、南部藩和賀の吉助施工	・安政の大獄(1859、反体制派の大弾圧)	
1850(嘉永3)	・四ツ谷用水新潜穴を和賀の吉助掘削	・幕府遣米使節(1860、玉蟲左太夫同行)	
1861(文久元)	・福岡大堰新潜穴、普請本締庄司忠蔵富田盛、堀方主立南部吉助で完工(1849-50)	・桜田門外変(1860、大老井伊直弼暗殺)	
1867(慶応3)	・品井沼元禄潜穴の第6回改修(1861)	・パリ万博日本初出展(1867)	
1868(明治元)	・仙台藩土、長州世良修蔵暗殺(68. 6. 10)	・大政奉還(1867. 11. 9)	
明治	1868(明治元)	・東北戦争(白河、駒ヶ峰、旗巻)仙台藩降伏(9. 15、戦死1266人)28万石に削封(12. 7)	・戊辰戦争(1868-69)明治改元(M1. 9. 8)
	1869(明治2)～	・亘理、岩出山の旧家臣団、北海道へ移住(M14迄に、仙台藩北海道移住3, 688人<亘理3, 078、岩出山689、角田331、白石211>)	・奥羽越列藩同盟(31藩)の結成と敗退
	1871(明治4)	・箱館戦争で戊辰戦争が終結(M2. 5)	・廃藩置県(M4. 7. 14、274藩→3府302県、仙台藩→仙台県角田県登米県胆沢県)
	1875(明治8)	・士族救民事業、新堀運河開削(1870-72)	・明治新政府、欧米に国使派遣(M4～M6)
	1876(明治9)	・上川原堰、鳴瀬川合流点に取水変更(M4安政年間<1854-60>に洪水で水路溢れ)	・県下に大区小区制(M5、不評の制度)
	1878(明治11)	・仙台藩士族に北海道屯田兵を募集(M8)	・太陽暦に移行(M6. 1. 1)
	1879(明治12)	・明治天皇、東北と北海道を巡幸(M9. 6)	・征韓論政変(M6)
	1880(明治13)	・8. 21県境変更で宮城県、現在県域に(M9)	・屯田兵制度の制定(M7)
	1881(明治14)	・内務卿大久保利通が野蒜築港(M11-M15)	・全国、3府35県1道(M9)
	1883(明治16)	・失業士族対策の緊急開拓(加美郡王城寺原864町余、刈田郡宮村原野953町余、牡鹿郡大街道荒蕪地254町余、亘理郡吉田長瀬荒蕪地58町余、玉造郡鍛冶屋敷原野130町余、宮城郡愛子原17町余)	・西南戦争(M10西郷隆盛)【屯田兵村分布】
	1884(明治17)	・ウラナ 技師トールン調査(野蒜、品井沼-M14)	・県下に郡区町村制で郡役所、郡長を設置(M11～T15)
	1886(明治19)	・品井沼元禄潜穴で第7回目の改修工事	・内務卿、大久保利通が暗殺(M11)
	1887(明治20)	・横川堰完成(百年目の悲願、上山へ導水)	・安積疏水(M12～M16)
	1888(明治21)	・尾形安平の計画、設計、施工で柴田郡大谷村に、大谷堰嵩上げ工事が完了	・農商務省を設置(M14. 4)
	1889(明治22)	・東名北上運河が竣工、台風で野蒜港壊滅	・明治十四年の政変(M14)
	1890(明治23)	・伊具郡金山町内沼を開墾する(M17)	 【トールンの品井沼測量図】
	1891(明治24)	・登米郡宝江で県営排水施設工事(～M22)	 【セイ・ファン・トールン】
	1892(明治25)	・泉口堰(内親堰)改修で白石川から導水	・内閣制度発足(M18初代総理伊藤博文)
	1897(明治30)	・東北本線が開通(上野～仙台～塩釜)	・東京に電灯が灯る(M20)
		・岡田弥作計画で川崎村古閑疏水が完成	・大日本帝国憲法発布(M22)
	・品井沼沿村組合を設立(三郡五ヶ村、M22)	・全国、3府43県1道となる(M22)	
	・船岡、大河原で白石川取水の用水開削事業(旧水源の六沼干拓284町開田、～M25)	・東海道本線が全線開通(M22)	
	・名鱒沼と江合川の境に明治水門完成	・制限選挙(M22、25歳男、納税15円以上)	
	・伊豆野堰、欧法式のコンクリート造りで大改修	・第1回衆院選挙、第1回帝国議会(M23)	
	・金洗堰普通水利組合設立(M24. 2. 7、県内第1号、S23迄に県内119水利組合設立)	・水利組合条例公布(M23)	
	・明治水門鞍坪潜穴青木川水害予防組合設立(M25. 5. 17、県内初、S7迄8組合設立)	・東北本線が青森まで全線開通(M24)	
	・遠桃事件(M25～M27、遠田郡と桃生郡の明治水門の管理権を巡る集団騒動紛争)	 【名鱒沼明治水門】	
	・尾形安平計画で大河原町尾形新田開拓	・日清戦争(M27-28)	
	・蔵王山噴火(M27. 7)	・旧河川法公布(M29)	

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
明治	1899(明治32)	・高橋貞蔵他計画で川崎村太郎堰完成	・旧耕地整理法公布(M32)
	1900(明治33)	・苦地潜穴完成(M32-33、20町歩余を灌漑)	・治安警察法公布(M33)
	1901(明治34)	・名取郡増田町田高上原沼で耕地整理(認可M34. 12. 31、県内初、12. 4町、M34-M43)	・官営八幡製鉄所操業(M34)
	1902(明治35)	・南郷村千代久保排水鳴瀬川水門が竣工	・宮城県農会に農業土木技術者を配置(M34)
	1904(明治37)	・宮城県で凶作(減収率50%超、M35)	・東北、北海道で大凶作(M35)
	1905(明治38)	・七北田川北向堰、加藤清六開削(M35-37)	・日英同盟(M35)
	1907(明治40)	・角田で大沼他六ヶ所の開墾事業に着工	・日露戦争(M37~38)
	1908(明治41)	・伊具郡金山町外沼を開墾する(M37)	・ポーツマス条約締結(M38)
	1910(明治43)	・宮城県で大凶作(減収率80%超)、作況12	・東北、北海道で大凶作(M38)
	1911(明治44)	・明治三陸地震津波で宮城死不明3,452人	・明治三陸地震津波で死不明者22千人
大正	1912(明治45)	・中田沼干拓(M38~M45)に、郡営施工で北上川大泉蒸気機関設置、面積461町歩余	・耕地整理研究会(農業土木学会)発足
	1913(大正2)	・角田上水、高山善右衛門完工(延長2610間、灌漑1500町歩、干拓150町歩、M39-40)	・水利組合法公布(M41)
	1914(大正3)	・品井沼に東宮殿下(大正天皇)一分停車(わらじ村長鎌田三之助と品井沼干拓)	・日韓併合(M43)
	1915(大正4)	・品井沼干拓(M39~T6)に、明治潜穴(組合施行、M40~M43)が完成(落盤で作業人夫八名死亡悲話)、新たに1,500町歩干拓	・辛亥革命(清朝滅亡・中華民国、M44)
	1916(大正5)	・明治43. 8. 9大洪水、鳴瀬川など堤防決壊	・明治天皇崩御(M45)、改元(T1. 7. 30)
	1919(大正8)	・桃生郡桃生柳津で開墾事業に着工(M44)	・東北、北海道で大凶作
	1920(大正9)	・登米郡錦織嵯峨丘で開墾事業着工(M44)	・第一次世界大戦(T3-T7、日本=連合国)
	1921(大正10)	・明治年間耕地整理事業294地区32,000町余(M34~M45の12年間)	・吉野作造、民本主義を唱える(T5)
	1923(大正12)	・宮城県で凶作(減収率50%超、T2)	・ロシア革命、シベリア出兵(T6-T7)
	昭和	1914(大正3)	・亶理郡山下村に大平土取場溜池建設
1915(大正4)		・耕地整理事業に補助金4. 5/10交付さる	・開墾助成法公布(T8)
1916(大正5)		・登米郡高石、蒸気機関の排水機設置(T4)	・国際連盟、スイス・ジュネーヴに創設(T9)
1919(大正8)		・北上川分流施設(脇谷・鴉波洗堰、T5-S7)	・日本は常任理事国となる
1920(大正9)		・県内務部に、耕地整理課を新設(T8. 12)	・日英米仏、四か国協定(T10)
1921(大正10)		・T8. 12. 27付任命初代課長:青木亮三郎	・米穀法制定(T10、米価格調整の開始)
1923(大正12)		・桃生郡北方に寺崎、倉埜の2揚水機関場設置し北上川の用水確保(T8-T9)	・原敬首相(岩手出身)東京駅暗殺(T10)
1924(大正13)		・米山穴山揚水機竣工(青木亮三郎設計)	・全国水平社創立(T11)
1925(大正14)		・初の県営事業として広瀬沼干拓が着工(T10~S3、開発面積685町余、広淵沼開墾事務所をT10. 5. 23開設)	・関東大震災(T12、死者不明者105千人)
1926(大正15)		・若柳町新山に県下最初の電動揚水機	・農林省と商工省に分割される(T14)
昭和	1927(昭和2)	・桃生郡赤井堀中流に、北上川揚水機関場	・普通選挙法、治安維持法(T14)
	1928(昭和3)	・柴田郡川崎富岡村に音無金田溜池築造	・農業土木、農業工学創始者、東京帝大上野英三郎博士逝去(忠犬ハチ公、T14)
	1929(昭和4)	・旧迫川短台谷地干拓、松山常治郎が開始	・ラジオ放送が始まる(T14)
	1930(昭和5)	・登米郡石越村北郷鹿沼、約40町歩干拓	・川端康成「伊豆の踊り子」(T15)
昭和	1931(昭和6)	・登米郡五ヶ村堀を改修	・大正天皇崩御(T15)、改元(S1. 12. 25)
	1932(昭和7)	・県営落堀排水改良事業が着工(T14-S10、受益833町、落堀排水改良事務所をT14. 9. 25宮城郡高砂村に2ヶ所目事業所開設)	・宮城県耕地協会設立(S2)
	1933(昭和8)	・仙台市に、路面電車開業(T15. 11)	・昭和金融恐慌(S2)
	1934(昭和9)	・耕地整理課を、耕地課に改称(T15. 7. 1)	・NHK仙台放送局が放送開始(S3)
昭和	1935(昭和10)	・大正年間の耕地整理事業217地区15,000町歩余(T1~T15の15年間)	・世界恐慌の影響で昭和恐慌(S4~S5)
	1936(昭和11)	・開墾助成法による事業、39地区1,478町歩余(T8-T15の8年間)	
	1937(昭和12)	・用排水状況調査(用水潤沢:60,127町歩、用水不足:18,506町歩、排水平時不良:13,018町歩、洪水時のみ被害:39,259町歩)	
	1938(昭和13)	・伊豆沼沿岸排水改良事業が着工(排水機設置、堤防増築、受益1,500町歩、S2~S8)	
昭和	1939(昭和14)	・伊具郡内1町3ヶ村の内川尾袋川沿岸排水改良により江尻閘門に排水機設置し沼沢盆地の開発着手(2347町、S2-S8)	
	1940(昭和15)	・宮城電鉄、仙台~石巻で開通(S3)	
	1941(昭和16)	・県営澄川用水(鉾毒旱害対策、S3~S7)	
	1942(昭和17)		



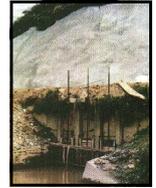
【高山善右衛門】



【明治潜穴の穴尻】



【鎌田三之助】



【大泉取水口】

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
昭和	1929(昭和4)	・江尻第一排水機(電動機)が稼動(S4) ・短台谷地湿地干拓着工(1150町歩S4-S9) ・古川沿岸排水改良が着手(S4-S8)	・ロンドン軍縮会議(S5)   【江尻第一・第二排水機】【澄川いぼ岩分水(S16)】
	1930(昭和5)	・夏川沿岸排水改良着工(S5~S11)受益面積2,891町余の排水機新設	・満州事変(S6. 9. 18)、満州国建国(S7)
	1931(昭和6)	・東北、北海道で冷害、凶作飢饉(S6)	  【青木定盤水門】 【鞍坪潜穴工事】
	1933(昭和8)	・青木定盤水門と鞍坪潜穴を着工(S6) ・中島北地区埋立、築港運河第一期修築工事が中島北地区~貞山運河間で完了 ・江尻第二排水機(ディーゼル)稼動、東洋一 ・鳩原用水改良、揚水機と用水路(S6-S8) ・三陸地震津波で被害(S8、死不明者315)	・五一五事件(S7、海軍将校が首相暗殺) ・日本が国際連盟を脱退(S8)
	1934(昭和9)	・夏川大袋の湛水排除に300人の農民紛争 ・三郡用排水改良、揚水機設置(S9~S22) ・吉田川沿岸用水改良嘉太神溜池(S9-11)	・昭和三陸地震津波(S8、死不明3064人) ・農村不況(東北地方大冷害、S9)
	1935(昭和10)	・七北田川沿岸用水改良事業が着工(S10~S23)受益1,477町余、蒜但木ダム築造 ・鳴瀬川沿岸用水改良事業で孫沢溜池着工(S10-S12、S8早魃契機、館前堰補給) ・室江排水改良、排水機設置(S10-S12) ・迫川沿岸排水改良、排水機設置(S10-12) ・夏川沿に石崎排水機、橋向堰設置(S10) ・開墾助成実績51地区5,130町歩(S2-S10)	・満州開拓移民推進計画(500万人計画) ・二二六事件(S11陸軍青年将校1483名)
	1936(昭和11)	・集団農耕開発事業、小野田村鹿原、宮村上ノ原、玉沢村蟹沢、500町歩開田(-S13) ・田尻川沿岸排水改良が着工(S11-S27)	・日中戦争開戦(S12)  【鳴瀬川長沼溜池】
	1937(昭和12)	・仙山線、仙台~山形間全線が開通(S12) ・船岡用水改良事業が着工(S12-S17) ・皿貝川沿岸排水改良事業着工(S12-S18) ・鳴瀬川に長沼溜池築造開始(S13~S27)	・国家総動員法制定(S13) ・日独伊三国軍事同盟締結(S15) ・政党解散、大政翼賛会(S15)
	1938(昭和13)	・広瀬川用水改良で愛子溜池築堤、七郷高砂六郷の補給用水が目的(S14~S24) ・大貫村で蕪栗沼開墾事業着工、干拓面積142町歩(S14-S17)	  【明治潜穴の品井沼】 【幡谷サイフォンの品井沼】
	1939(昭和14)	・耕地整理の施行、753地区、面積78,500町歩で全国1位(M34~S15、工事済55,000) ・品井沼に幡谷サイフォンが完成(T15~S15) ・品井沼代行干拓開墾助成事業(S15~24)	・太平洋戦争開戦(S16. 12、真珠湾攻撃) ・農地開発法公布(S16) ・戦時下の食糧増産対策土地改良(S16) ・食糧自給強化に農地開発営団設立
	1940(昭和15)	・東北冷害、宮城作況79、東北作況78(S16)	・食糧管理法、米B25日本初空襲(S17. 4) ・農商省に再編(S18) ・第2次食糧増産対策土地改良(S18) ・第3次食糧増産対策土地改良(S19) ・原爆投下(広島長崎)、戦没者310万人 ・ポツダム宣言受託、終戦(S20. 8) ・農務省解体し農林省を復活(S20. 8) ・GHQ、邦人660万人の引揚開始(S20. 10) ・日本国憲法公布(S21. 11、施行:S22. 5) ・自作農創設特別措置法(S21農地解放) ・極東軍事裁判が開かれる(S21)
	1941(昭和16)	・県内4ヶ所に耕地出張所設置(S17. 2. 18) ・伊豆沼1工区代行干拓(92町歩、S16-S23) ・涌谷町南郷村排水改良に着手(S16-S27) ・嘉右衛門堀排水改良に着手(S16-S27) ・豊里村用水改良で揚水機着工(S16-S27)	・加リ台風(S22. 9、死者不明者1,930人) ・地方自治法成立(S22)
	1942(昭和17)	・豊里村用水改良で揚水機着工(S16-S27) ・桃生町寺崎揚水機関施設(改造)が完了 ・亘理用水改良で揚水機増設(S17~S24)	・アイワ台風(S23. 9、死者不明者838人)
	1943(昭和18)	・小山田川に宿の沢溜池築堤(S18~S24)	・トッソライン実施(S24、1ドル=360円)
	1944(昭和19)	・県内7ヶ所に小用排事務所設置(S19. 2. 2)	・土地改良法公布(S24)
	1945(昭和20)	・仙台大空襲(S20. 7. 10、被災戸数11642戸死者1,066人)、宮城県人口1,462千人	・農林水施設災害復旧暫定法公布(S25)
	1946(昭和21)	・県内3ヶ所に開墾、干拓事務所(S21. 3. 29) ・農地部に農地課、開拓課、耕地課(11. 25) ・耕地整理事業(新法)、各地着工(S21~) ・県営かん排、鞍坪・槻木着工(S21~県初)	
	1947(昭和22)	・加リ台風北上川大泉破堤、死者不明30人 ・貞山堀に排水機(二郷堀・大堀、S22~26) ・伊豆沼2工区代行干拓(130町、S22-S39) ・伊豆沼3工区代行干拓(118町、S22-S32)	
	1948(昭和23)	・アイワ台風で鳴瀬川等破堤、死不明者40人 ・県内13ヶ所に開墾事務所追加(S23. 4. 1) ・槻木五間堀沿岸排水改良事業(S23-S25)	
	1950(昭和25)	・S25. 8熱帯低気圧大洪水で名取川、広瀬川、吉田川、多田川など破堤	

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
昭和	1950(昭和25)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に、耕地災害復旧事務所(S25. 9. 18) ・亘理用水土地改良区設立(S25. 12. 20、県内認可第1号、普通水利組合の組織変更) ・品井沼干拓新たに370町歩、ここに全域完了(300年間の偉業で4,469町歩干拓) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S25年産米政府買入価格2,540円 ・朝鮮戦争(S25-S28)、日本に朝鮮特需 ・警察予備隊(75千人)を創設(S25) ・宮城県の人口1,663千人(S25)
	1951(昭和26)	<ul style="list-style-type: none"> ・国営定川着工(S26~S45)受益9,619ha ・団体営かん排、県内各地で着工(S26~) ・団体営ほ場整備、県内各地着工(S26~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日米安全保障条約(S26) ・積寒法公布(S26) 
	1952(昭和27)	<ul style="list-style-type: none"> ・県営用水改良、川原子ダム着工(S27-44) 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布(S27) 【定川青木定盤】
	1953(昭和28)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地部を農地開拓課、耕地課、開墾建設課に再編(6.16) ・県内6ヶ所に土地改良出張所(S28. 8. 20) ・宮戸代行干拓事業が着工(S28~S40) 	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美諸島本土復帰(S28) ・耕地協会を土地改良協会に改組(S28) ・テレビ放送開始(S28) ・ビキ環礁水爆実験(S29. 3、第5福竜丸) ・洞爺丸台風(S29. 9、死者不明1,761人) ・防衛庁、自衛隊が発足(S29) ・神武景気(S30~S32)
	1954(昭和29)	<ul style="list-style-type: none"> ・七郷堰と六郷堰を統合し、愛宕堰が完成(S25洪水で壊滅、仙台市営でS26~S29) ・湖岸堤防事業、長沼着工(S29、県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1955(昭和30)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済部と農地部を農林部に再編(10. 20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1956(昭和31)	<ul style="list-style-type: none"> ・手樽代行干拓事業が着工(S31~S43) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1957(昭和32)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港が開港(滑走路1,200m) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1958(昭和33)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地海岸保全、鳥の海着工(県内最初) ・老ため整備、西沢地区着工(S33、県内初) ・県土地改良事業団体連合会設立(S33. 8) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1959(昭和34)	<ul style="list-style-type: none"> ・国営亘理着工(S34~S46)受益4,176ha ・王城寺原演習場障害防止対策着工(S34) ・県内土改区数、241となる(最大数、S34) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人)
	1960(昭和35)	<ul style="list-style-type: none"> ・チリ地震津波で被害(S35. 5、死不明53) ・農業水産部と農地林務部に部再編 ・県内6ヶ所に土地改良事務所(S35. 12. 1) ・農地地すべり対策、大内着工(S35~S49) ・角田排水改良事業で高倉川排水路ならびに内川逆サイホン工事が完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,064円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 
	1961(昭和36)	<ul style="list-style-type: none"> ・県営農地開発、牡鹿町大原着工(県内初) ・三迫川防災溜池 栗駒ダム完成(S25-36) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36)
	1963(昭和38)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ササニシキ」新品種登録(古川農試S38) ・湛水防除、丸森着工(S38~S39、県内初) ・団体営土地総、県内各地で着工(S38~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1964(昭和39)	<ul style="list-style-type: none"> ・県営ほ場整備事業、柴田着工(県内最初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1965(昭和40)	<ul style="list-style-type: none"> ・国営旧迫川着工(S41~S53)受益6,413ha ・国営開拓パイロット草地薬菜山麓着工(S41~S48)草地造成787ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1966(昭和41)	<ul style="list-style-type: none"> ・新河川法成立2年以内の慣行水利権届出書提出を行政指導(期限:S42. 3. 30) ・国営名取川着工(S42~S62)受益4,450ha ・仙台人口50万突破、東北大博覧会(S42) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1967(昭和42)	<ul style="list-style-type: none"> ・国営名取川着工(S42~S62)受益4,450ha ・仙台人口50万突破、東北大博覧会(S42) ・県営鉾毒対策、振子沢地区村田ダム造成に着手(S43~S54) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1968(昭和43)	<ul style="list-style-type: none"> ・農政部(S42-)内に、耕地課、農地計画課、農地開発課で体制再編(S44. 7. 21) ・開拓未利用地開発、各地で着工(S44~) ・農地地すべり対策、海草着工(S44~S47) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1969(昭和44)	<ul style="list-style-type: none"> ・広域農道、川南着工(S45-S48、県内初) ・土砂崩壊、下片馬合着工(S45-S46、県初) ・県営草地開発事業、白石、河北着工(初) ・高速関連土改、菅生着工(S45-47、県初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1970(昭和45)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台新港が開港(仙台塩釜港仙台港区) ・国営河南着工(S46~S56)受益5,395ha ・大規模ほ場整備、旧迫川着工(S46~H5) ・県営畑総の志津川地区着工(S46~S59) ・開拓地整備、大衡、苦地着工(S46、県初) ・国営中田着工(S47~S62)受益4,380ha ・県営一般農道、旭山地区と西根地区で着工(S47~、県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
	1971(昭和46)	<ul style="list-style-type: none"> ・小笠原諸島が本土復帰(S43) ・三億円強奪事件(S43) ・自主流通米制度、生産調整導入(S44) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40)
1972(昭和47)	<ul style="list-style-type: none"> ・S45年産米政府買入価格8,272円 ・よど号ハイジャック事件(S45. 3、赤軍派) ・大阪万国博覧会(S45) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S30年産米政府買入価格4,162円 ・日本が国際連合に加盟(S31) ・日米安全保障条約を結ぶ(S31) ・ソビエト連邦と国交回復(S31) ・愛知用水事業開始(S32) ・八郎潟干拓事業開始(S32) ・岩戸景気(S33~S36) ・伊勢湾台風(S34. 9、死不明者5,098人) ・チリ地震津波来襲(日本死不明142人) ・日本の食糧自給率79%(S35、カリヘース) ・S35年産米政府買入価格4,162円 ・日米安保条約改定(S35) ・農業基本法公布(S36) ・県営ほ場整備事業制度創設(S38) ・東京リビック、東海道新幹線開通(S39) ・いざなぎ景気(S40~S45) ・新河川法公布(S39) ・S40年産米政府買入価格6,538円 ・日韓基本条約調印(S40) 	

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
昭和	1973(昭和48)	<ul style="list-style-type: none"> ・東北自動車道、白石～仙台南間が開通 ・用排水施設整備、鞍坪、豊里着工(S48初) ・水質障害対策、船岡、大網で(S48、県初) ・県営用水障害対策事業、江合川の右京江地区着工(S48～S54) ・干ばつ被害発生(S48. 7-8、A=38, 600ha) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中国交回復(S47. 9. 29) ・第一次オイルショック(S48、第四次中東戦争)
	1974(昭和49)	<ul style="list-style-type: none"> ・農村総合整備モデル事業(市町村型)、柴田町と米山町で着工(S49～、県内初) 	
	1976(昭和51)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市電、全線廃止(S51. 3. 31) ・国営迫川上流着工(S51～H17) 10, 680ha ・農村総合整備モデル事業(集落型)、田尻長沢地区で着工(S51～、県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S50年産米政府買入価格15, 570円 ・沖縄海洋博開催(S50)
	1977(昭和52)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅現駅舎開業(S52) ・県営施設機能障害、隈西地区着工(S52～S63、県内初) ・維持管理適正化事業、各地着手(S52～) ・宮城県の人口200万人突破(S52. 1) 	   <p>【伊豆野頭首工】 【荒砥沢ダム】 【小田ダム】</p>
	1978(昭和53)	<ul style="list-style-type: none"> ・S53. 6. 12宮城県沖地震(M7. 5、死者27人) ・農政部技術管理室(耕地課付、S53. 4. 1) ・農集排、花釜地区着工(S53-S61、県内初) ・河川対応事業、三本木町大堰、三丁の目で着工(S54～、県内初) ・公害防除特別土地改良事業、新堀出来川上流地区着工(S53～S61、県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次オイルショック(S53、イランイスラム革命) ・農林水産省と改称(S53)
	1979(昭和54)	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模排水対策、各地で着工(S54～、初) 	
	1980(昭和55)	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防除特別土地改良事業、二迫川地区着工(S55～S60) 	<ul style="list-style-type: none"> ・S55年産米政府買入価格17, 674円 ・IBMがMS-DOS搭載のPCを発表(S56)
	1981(昭和56)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台南部道路開通(S56) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線、大宮～盛岡間開通(S57) ・ガソリン(172円) 灯油(1791円) 高騰(S57)
	1983(昭和58)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台西道路開通(S58) ・県営土地総、大和吉田(S58-H6、県内初) ・国営角田着工(S59～H7) 受益3, 460ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海中部地震津波、犠牲100人(S58) ・筑波万博、日航ジャンボ機墜落(S60) ・S60年産米政府買入価格18, 668円 ・NTT、JTの民営化(S60)
	1984(昭和59)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆沼、日本2番目のラムサール条約指定登録 	
	1985(昭和60)	<ul style="list-style-type: none"> ・S61. 8. 5豪雨で吉田川等破堤(台風10号) ・阿武隈急行転換開業(S61、第3セクター会社) ・高度集積大区画ほ場整備「南八丁」着工 ・県営農地開発鬼首着工(S61-H4、22番目) ・農地保全整備上原着工(S61-H1、県内初) 	  <p>【江尻排水機場】 【ニツ石頭首工】</p>
	1986(昭和61)	<ul style="list-style-type: none"> ・春の異常渇水(仙台で連続旱天49日間) ・仙台市地下鉄南北線開業(S62. 7. 15) ・国営大崎西部着工(S62～H17) 4, 621ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・バブル景気(S61～H3) ・国鉄分割民営化(S62、JR発足) ・昭和天皇崩御(S64) 平成改元(H1. 1. 8)
	1987(昭和62)		
	1989(昭和64)		
平成	1989(平成元)	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市、第11番目の政令指定都市に移行 ・県庁舎(18階建て)が完成(H1. 5) ・低コスト大区画ほ場整備創設で、二郷第三、美賀野間、高木が着工(H1～、県内初) ・県営かん排高度利用(水環境整備)、館腰着工(H1-H4、県初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税3%で施行(H1. 4. 1) ・日本の食糧自給率49%となる(H1、加リーベース)
	1990(平成2)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の国営負担金償還助成事業創設(H2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H2年産米落札平均価格21, 600円
	1991(平成3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとめぼれ」新品種登録(古川農試、H3) ・国営鳴瀬川着工(H3～) 受益9, 870ha ・21世紀ほ場整備創設、各地で集積に取組 ・団体中山間整備大耕着工(H3-H7県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線、東京～盛岡間開通(H3) ・改正土地改良法(H3、負担が1.5倍) ・H3. 6. 3雲仙普賢岳で火砕流(犠牲者43人) ・平成不況(H4～H13) ・農協のJA愛称(H4) ・東北大冷害、作況指数56(H5) ・プロサッカーJリーグ発足(H5、参加:10クラブ) ・国営事業負担率恒久化措置(H5～、国:70%or2/3に改定) ・奥尻島津波犠牲230人(H5) ・サン・ファン・バウティスタ号復元(H5)
	1992(平成4)	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄南北線泉中央駅開業(H4. 7. 15) ・県営中山間整備米川着工(H4-H8県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H6. 9. 22豪雨で増田川など越水や破堤 ・国営大崎地区着工(H6～) 受益10, 425ha
	1993(平成5)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県全域で大冷害、作況指数37(H5) ・国営江合川着工(H5～H19) 受益5, 875ha ・担い手育成ほ場整備創設、堀内、毛萱など各地で着工(H5～、県内初) 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥尻島津波犠牲230人(H5) ・サン・ファン・バウティスタ号復元(H5)
	1994(平成6)	<ul style="list-style-type: none"> ・農政部内で、農地計画課、農地整備課、農村整備課の三課に再編(H6. 4. 1) ・夏の異常渇水(鹿島台:連続旱天49日間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・H6年産米落札平均価格22, 172円 ・UR農業関連対策閣議決定(期間H8-14)

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史	
平成	1995(平成7)	・仙台東道路一部開通(H7)	・新食糧法公布(H6、食管法廃止)	
	1996(平成8)	・国営再編山元着工(H7~H15)受益638ha ・土地改良事務所を、農林振興事務所農業農村整備部に再編(H8.4.1)	・H7.1.17阪神淡路大震災(死者6437人) ・地下鉄サリン事件(H7.3.20)	
	1997(平成9)	・国営亙理山元着工(H8~12)受益4,080ha	・世界貿易機関(WTO)発足(H7)	
	1998(平成10)	・基幹水利施設管理事業、大泉揚水機場と水越揚水機場で着手(H8~、県内初)	・慶長使節船ミュージアム完成(H8)	
	1999(平成11)	・国営施設整備旧迫川着工(H9-11)6060ha ・県土地連に農地集積指導センター設置 ・ベガルタ仙台(フロンティア)がJリーグに参入 ・産業経済部を創設し、農村基盤計画課、農地整備課、むらづくり推進課に再編 ・公所を産業振興事務所とする(H11.4.1)	・宮城大学が大和町に開学(H9.4.1) ・消費税5%に引上(H9.4.1、国4%地方1%) ・長野冬季オリンピック(H10) ・日本食糧自給率40%となる(H10、加印)	
	2000(平成12)	・県古川農業試験場が東大崎へ移転(H11) ・田園空間整備山元亙理着手(H11-18、初)	・食料・農業・農村基本法公布(H11) ・国営県負担金直入方式(H11着工~)	
	2002(平成14)	・中山間地域等直接支払、2.6千haで着手 ・国営造成施設管理体制整備型事業着手	・仙石線あおば通駅開業(H12.3.11) ・H12年産米落札平均価格17,054円 ・H13.9.117トリカ同時多発テロ犠牲3025人	
	2003(平成15)	・H14.7.10台風6号洪水で二迫川など破壊 ・宮城県農地集積アドバイザー制度(H14~)	・改正土地改良法公布(H13、環境配慮) ・日韓共催サッカーワールドカップ(H14) ・土改区愛称に「美土里ネット」(H14)	
	2004(平成16)	・H15.7.26北部連続地震(M6.2、震度6強) ・経営体育成ほ場整備創設、田尻中央、尾松第二、飯野川等で着工(H15~、県内初)	  【経営体育成ほ場整備】 【品井沼元禄潜穴】	
	2005(平成17)	・公所、地方振興事務所に再編(H16.4.1) ・歴史的施設保全型元禄潜穴(H16~県初) ・蕪栗沼と周辺水田、ラムサール条約指定登録 ・東北楽天、プロ野球2005シーズンから参戦 ・プロバスケットボールJリーグの仙台89ERSが設立 ・吉林省JICA草の根技術協力事業(-H19) ・みやぎグリーンツーリズム推進協議会(H17~) ・県グリーンツーリズムアドバイザー制度(H17~)	・加美町誕生(H15.4) ・H16.10.23新潟県中越地震(震度7) ・COP3京都議定書が発効(H17) ・H17年産米落札価格16048円 ・宮城大に食産業学部(H17) 	
	2006(平成18)	・自動車登録番号標「仙台ナンバー」を導入 ・国営調査、南貞山堀沿岸(H18~)3,614ha ・全国初区債発行方式で国営負担金償還 ・大崎地振H18農業農村整備事業広報大賞	・愛知万博開催(H17) 【みやぎGT】 ・道路関係四公団民営化(H17) ・登米、栗原、石巻、東松島誕生(H17.4) ・南三陸町誕生(H17.10) ・美里町誕生(H18.1)	
	2007(平成19)	・仙台空港アクセス鉄道が開業(H19.3.18) ・農林水産部を設置し、農村振興課、農村整備課の二課体制に再編(H19.4.1) ・国営中津山、全計事業移行(H19)3,191ha ・農地水環境保全向上対策、44千haで着手 ・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業小山田川沿岸地区が着工(H19~、県内初) ・くりはら田園鉄道の運行終了(H19.3) ・セントラル自動車本社工場の移転決定(H19) ・みやぎ発展税(法人事業税、H20.3)	・大崎市、新・気仙沼市誕生(H18.3) ・日本食糧自給率39%となる(H18、加印)	
	2008(平成20)	・H20.6.14岩手・宮城内陸地震(震度6強) ・荒戸沢ダムに地滑土砂流入、代替池検討 ・H20.10.30化女沼がラムサール条約登録決定	  【農地・水・環境保全向上対策】 ・郵政民営化(H19、JP日本郵政G発足)	
	2009(平成21)	・国営中津山地区、着工(H20)3,191ha	・道路関係四公団民営化(H17) ・登米、栗原、石巻、東松島誕生(H17.4) ・南三陸町誕生(H17.10) ・美里町誕生(H18.1) ・大崎市、新・気仙沼市誕生(H18.3) ・日本食糧自給率39%となる(H18、加印)	
	2010(平成22)	・県営ため池整備の沼倉2期が着工(H21) ・マライ草の根技術協力プロジェクト(H22-H28) ・H23.3.11東日本大震災(M9、最大震度7) ・宮城県内農地14,341ha、津波で甚大被害 ・七ヶ浜町土改区建屋が津波で全壊流出 ・県石巻合庁が津波浸水により484人孤立 ・県南三陸合庁が津波襲来で全壊浸水 ・H23.3.12仙台NNで被害調査等活動開始 ・H23.3.13南三陸支所市町災对本部支援 ・H23.3.14東部NN合庁脱出し被害調査へ ・H23.3.18本庁NN2課に災害対策チーム編成 ・仙台NN、東部NNで応急排水調整(H23.3) ・仙台NN、農地海岸応急復旧着手(H23.3) ・仙台NN、土改区に連絡職員派遣(H23.3) ・農地がけ撤去工5,585ha県発注(H23.3)	・H20.6.14岩手・宮城内陸地震(震度6強) ・荒戸沢ダムに地滑土砂流入、代替池検討 ・H20.10.30化女沼がラムサール条約登録決定 ・宮城大学を公立大学法人化(H21.4) ・気仙沼市に本吉町編入(H21.9) ・東日本大震災、全国犠牲者1万8,455人 ・大津波で福島第一原子力発電所事故	
				  【荒戸沢ダム上流地滑】 〈土木研究所〉 【大津波襲来(仙台空港付近)】〈毎日新聞〉

時代	西暦・年号	宮城県の歴史	日本の歴史
平成	2011(平成23)	<ul style="list-style-type: none"> みやぎ環境税(県民税)導入(H23. 4) 農地災害がけ処理を県に7市町委託(〃) 農地、施設、海岸NN被害4677億円(H23. 4) 被害の内787億円分が直轄特定災害復旧 津波被災農地施設災は地元要請で県営 緊急除塩2,139ha、H23稲作付(H23. 4-5) 排水機場69のうち31応急復旧稼働(〃) 県NN農地施設災害復旧13000ha着手(〃) 県NN災害査定第1~28次(H23. 5-H24. 1) H23. 10. 18県震災復興計画(H23-H32) 	<ul style="list-style-type: none"> H23. 5. 2震災対処土改法特例法が施行 H23. 6山形県が仙台NNに常時8人支援 H23. 9宮城NNに18道県29人体制支援 H24. 2. 10復興庁発足  <ul style="list-style-type: none"> 沖富池完成(H24. 3) 【直轄災の沖富調整池】
	2012(平成24)	<ul style="list-style-type: none"> H24. 6. 13知事・農工研NNハートナッシュ協定 復興交付金農地整備3600ha県営で開始 継続県営農地整備1500ha復興事業移行 災害関連整備仙台東2000ha国営で開始 	<ul style="list-style-type: none"> H24. 4宮城NNに28都道県64人体制支援 ベガルタ仙台、J1リーグ年間2位(H24)
	2013(平成25)	<ul style="list-style-type: none"> H25. 4 復興対応に農地復興推進室設置 H25. 9 県農水部がNN工学会地域貢献賞 H26. 2. 6 2014みやぎのNN復旧復興シホ H26. 2 みやぎNN復興プロ「連盟広報大賞」 	<ul style="list-style-type: none"> H25. 4宮城NNに28都道県68人体制支援 東北楽天イーグルス日本シリーズ優勝(H25)
	2014(平成26)	<ul style="list-style-type: none"> 復興再生で亘理、名取、石巻、仙台東地区用排水管理設備整備に着手 復興再生で県営農地整備2600haに着手 	<ul style="list-style-type: none"> 消費税8%(内地方1%)に引上(H26. 4. 1) H26. 4宮城NNに26都道県63人体制支援 H26. 9. 27 御嶽山噴火(犠牲者58人) 北陸新幹線が金沢まで開通(H27. 3)
	2015(平成27)	<ul style="list-style-type: none"> 仙石東北ラインが開通(H27. 5) H27. 9. 10-11 関東東北豪雨、湛水被害大 復興再生で亘理名取石巻、カソーラー整備 	<ul style="list-style-type: none"> H27. 4宮城NNに28都道県58人体制支援 仙台市地下鉄東西線開通(H27. 12. 6) 北海道新幹線が新函館開通(H28. 3)
	2016(平成28)	<ul style="list-style-type: none"> 国営の河南二期、名取が新規着工 H28. 5 県復興農地整備5100haをH24-H27の4ヶ年で8割の面工事終了し引渡達成 富谷市の誕生(H28. 10. 10) H29. 3 栗原で鳥インフル発生22万羽殺処分 	<ul style="list-style-type: none"> H28. 4宮城NNに26道県55人体制支援 H28. 4. 14-16 熊本地震、震度7が2回 プロバスケがBリーグで再スタート(H28. 9)
	2017(平成29)	<ul style="list-style-type: none"> H29. 10 南三陸支所を気仙沼NN部に改編 H29. 11 仙台東地区にカソーラー計画追加 H29. 11 復興農地整備で手樽171ha着工 	<ul style="list-style-type: none"> H29. 4宮城NNに23県45人体制支援 H29. 7. 11- 九州北部豪雨(安蘇814mm) H29. 9土改法(機構関連農地整備創設)

出典：宮城県土地改良史(H6. 3、宮城県) 東北農業の歴史・歴史年表(東北農政局整備部)

水土の歴史年表([社]農業農村整備情報総合センター) 仙台領の潜り穴(高倉淳著、H14. 7、今野印刷株)

農水省・国交省・宮城県・県内市町村・県内土地改良区ほかの資料より

日本の人口・耕地・米反収の推移

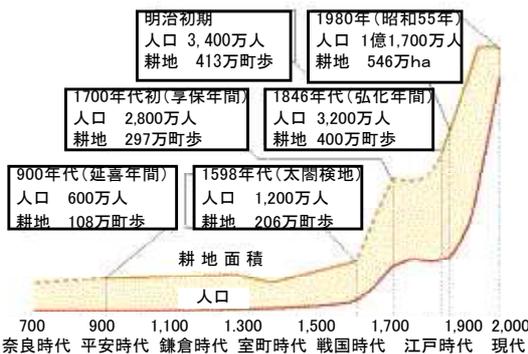
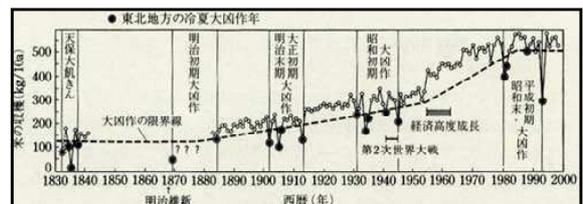
◇ 県別・品目別自給率(カロリーベース)(平成17年度概算値)

(単位:%)

	県別自給率	米を除いた自給率										
		米	小麦	大豆(食用)	野菜	果実	牛肉	豚肉	鶏肉	牛乳・乳製品	魚介類	
青森	115	300	59	4	49	241	494	28	22	39	25	277
岩手	103	314	38	6	42	98	78	33	21	98	80	184
宮城	78	240	29	4	87	41	8	18	7	8	29	218
秋田	164	634	21	1	151	84	53	9	15	1	14	16
山形	127	471	23	0	97	119	142	19	11	3	34	12
福島	82	287	19	1	31	95	80	18	7	6	24	66
東北	104	346	31	3	71	106	128	21	13	24	34	139
全国	40	95	23	13	24	76	37	12	6	8	28	57

資料：農林水産省「食料自給率レポート」を基に東北農政局で試算

↑【東北の県別・品目別自給率(H17)】



↑【日本の人口と耕地の推移(かん排事業の概要2002)】

【米の反収(「地表面に近い大気科学(東京大学出版会)」)】→

平成19年11月「みやぎの土地改良年表」verH29 農村振興課広域水利調整班 <平成30年1月追補版>